しらかみ

白神山地を背に営む農業と生活の応援団

October 2020
vol.264

Contents

02 Contents・今月の表紙
03 特集① 誕生!白神ねぎガール
04 特集② ノルディックウォーキングのススメ
08 稲作・畑作営農情報
10 あきた白神トピックス
12 令和２年度「秋季地域座談会」
13 支店を拠点とした活動の取り組み
14 福祉介護課だより
15 西高校生レポート
16 おたより・クロスワード
17 ＪＡあきた白神からのお知らせ
20 Mama'sキッチン

大好評!! 広報しらかみハイライトムービー

毎月、広報しらかみ編集時にはたくさんの写真を撮影します。紙面の都合上、本誌では伝えきれなかった場面をご紹介します！
右記ＱＲコードを読み取りご視聴ください。
目指すは動く広報誌!!

今月の表紙

【二ツ井町荷上場地区】
菊池　祥太さん・亜由美さんの長男・長女
菊池　春翔（はると）くん（７歳）
咲空（さら）ちゃん（５歳）

思いやりを持った子に育ってほしいとご両親。小学１年生の春翔くんは算数の授業が大好き。休み時間も友達と仲良く遊んで今日も元気に小学校に通います。お母さんが作った「オムライス」が大好きと教えてくれた咲空ちゃんはアニメ「鬼滅の刃」に夢中で塗り絵も上手に描きます。「今年はコロナ禍で遠出ができなかったので、家族４人で仙台に遊びにいくのが今の菊池家の目標です。」と春翔くんが教えてくれました。早くコロナが終息して夢が叶ったら仲良し家族４人でおもいっきり遊んできてくださいね。

オリジナルコスチュームは、女性らしくピンクのつなぎ（作業着）。
背中には「白神ねぎ」の文字と、キャッチフレーズ「しったげうめぇ」が印字されています。

特集 誕生！白神ねぎガール

「白神ねぎ」の生産現場では、労力が最も必要とされる調整作業（規格選別や結束作業）において繊細な感覚が不可欠とされる作業に多くの女性が従事しています。

そこで、白神ねぎ20億円販売達成プロジェクトチームでは、表舞台に出る機会が少なかった「白神ねぎ」の生産に携わる女性にスポットを当て、女性ならではのキャンペーン活動や講習会を今後計画していくこととし、誕生したのが「白神ねぎガール」です。

9月25日に「白神ねぎ」マスコットキャラクターの「白神ねぎのん」も見守る中、「白神ねぎ」20億円販売達成プロジェクトチームリーダーの佐藤組合長から初代「白神ねぎガール」に任命された見上はづきさん(29)に委嘱状が手渡されました。

見上さん自身も、子育ての傍ら、ご主人が経営する「白神ねぎ」や「白神きゃべつ」の栽培に従事しており、女性ならではの苦労や栽培にかける思いを背負って常に作業していることから、プロジェクトチーム内で適任と判断し抜擢されました。

初代「白神ねぎガール」の委嘱をうけた見上さんは「管内で盛り上がっている「白神ねぎ」の知名度向上・更なるブランド化に向けたと取り組みに対して、ねぎ部会員の思いを背負う重責に改めて強い使命感を抱いた。今後は様々なイベントに参加しながら、微力ながら知名度向上に向けて「白神ねぎ」をPRしていきたい。また「白神ねぎ」生産に携わる女性陣のコミュニケーションを図る機会を設けながら一生懸命頑張っていきたい。」と話してくれました。